



コネクタソン と MESA TEST について

2006/7/20

渡辺 昌彦
IHE-J 技術検討委員会

- IHEJ事務局への「紙」による参加申し込みと参加費用の払い込み
→別途事務局から連絡
- 「KUDU」(インターネット・ウェブ)からのベンダーごとの参加システムの登録
→どんなシステム構成でどんな統合プロフィールを申請するかを登録
(期日:9月以降、未定)
- 第2回ベンダーワークショップ
→コネクタソン実施方法、テスト・シナリオなどの説明(11月15日予定)
- 事前テスト(MESA TEST)実施と結果の提出
→申請プロフィール・アクターに応じて結果提出(期日:12月末日予定)
- 実機接続テスト(コネクタソン)
→参加ベンダーの担当者とPM(プロジェクト・マネジャ)がKUDUを用いて、相互接続確認テストを実施(2007年2月5日~9日)

- 基本的には2005年度と同じであるが9月ごろ2006年度版をオープン予定

<http://kudu-ihej.dyndns.org/japan2007/>

- 旧版は以下でアクセス可能（登録不可）

<http://kudu-ihej.dyndns.org/japan2006/>

- 登録方法（現在は旧版）は以下から入手可能

http://kudu-ihej.dyndns.org/kudu_op.pdf

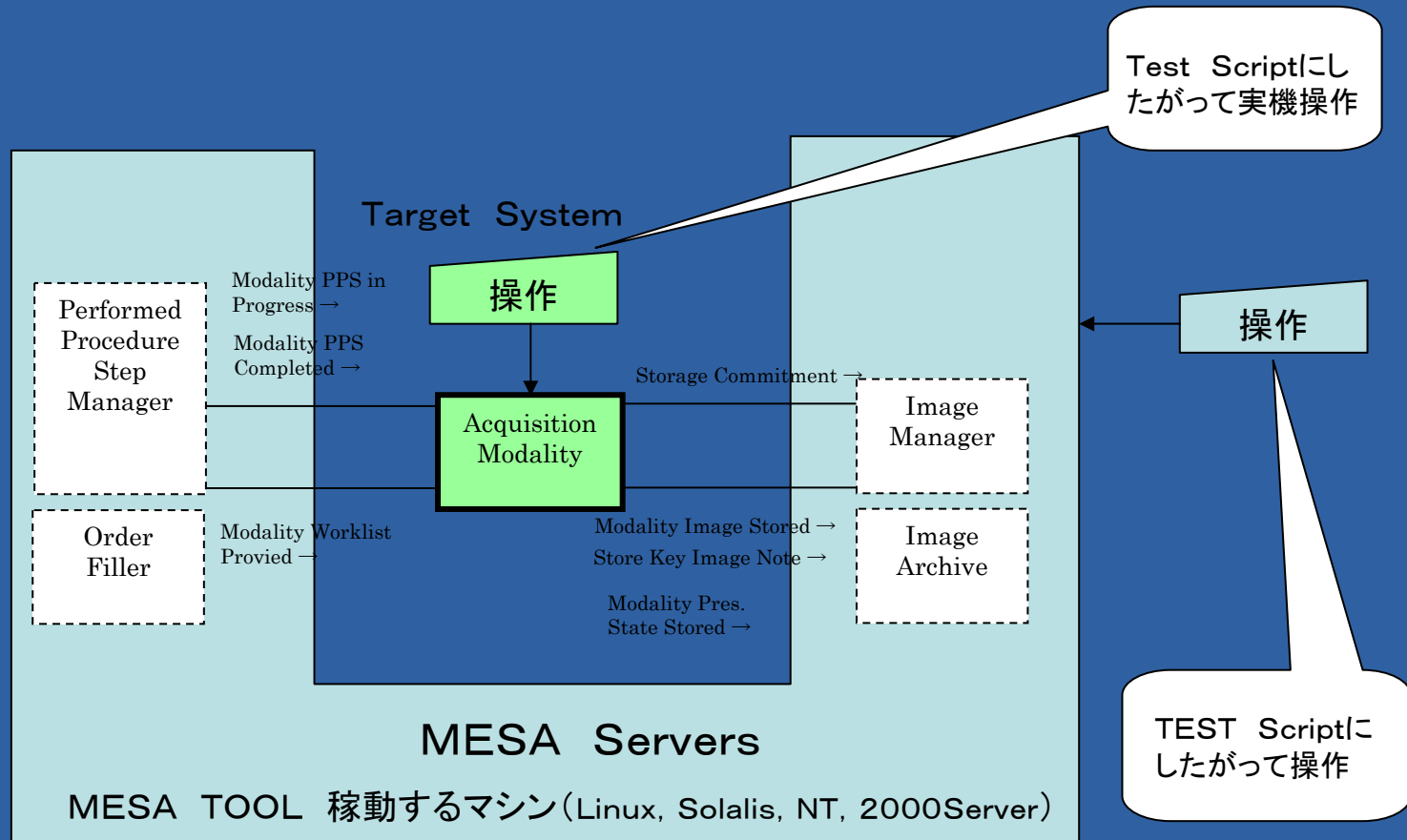
初めてのベンダーの方はぜひ一読とKUDUへのアクセスを体験してください。

このKUDUはプロテクトがかかっています。

ユーザ名: ihejuser パスワード: ihej2005

Mallinckrodt Institute of Radiology (MIR)がIHEのために開発

- Medical Enterprise Simulators and Analyzers
- 単独に接続ケースをシミュレートしてテスト
- WINDOWS NT/2000,UNIX(Solaris,LINUX)ベースのbinary applications (C++) とテストケース実行のためのperl scripts
- 一部を除きSource Codeが提供される
- 国際標準の最新版に対応
- 昨年と同様日本語への対応は一部の統合プロファイルとアクターに対してのみ可 (Linux版のみ)
- 日本版拡張仕様(HL7 v/r2.5, HIS-RIS(JJ1017)等)には対応していない



- コネクタソンへの参加の前提条件

参加ベンダーはコネクタソンでの作業を軽減し効率化するため、事前にこのテストを行いテスト結果をIHE-Jに提出する。

- 実際の適用

- DICOM系システム(RIS、PACS)

MESA英語版で実施、日本語対応するシステム場合は一部テストについてMESA日本語版で日本語の患者名などで実施

- HL7系システム(HIS-RIS, LAB)

別途日本版拡張仕様チェックシート等にて対応、適用範囲に制限がある模様

- 提出締め切り: 未定(12月末ごろ)

- 英語版の旧版は、
<http://www.erl.wustl.edu/mesa/index.html>
から入手可(パスワード不要)
- 英語版の最新バージョン及び日本語版は、
参加ベンダーにのみ後日公開(11月ごろ)

- IHEJ 2006 コネクタソン実施会場及び期間

東京都立産業貿易センター(浜松町館)

2007年2月5日(月)~9日(金)

- 実施概要

- 申請した統合プロフィール・アクターの組み合わせから予め指定されたテスト・シナリオを参加者同士で実施する。
- その結果をPM(プロジェクトマネジャー)に確認してもらう。
- 同一テスト・シナリオで3件以上確認をえたら、そのテストは完了したことになる(3インスタンス・ルール)。
- 申請した統合プロフィール・アクターの可能な組み合わせのテスト・シナリオがすべて完了した場合、そのシステムの統合プロフィール・アクターは完了となる。
- 申請したシステムごとに、実施すべきテスト・シナリオ、組み合わせ相手、テストの進捗状態、テスト結果などすべてKUDUを用いて運用される。

- コネクタソンの実施ルールとテスト実施方法
 - KUDUのメニュー「Participation Rules」
- コネクタソンのテスト・シナリオ
 - KUDUの「Connctathon」／「Test Information」
- コネクタソンの結果
 - KUDUの「Connctathon」／「Result Matrix」
- コネクタソンのプロフィールごとの組み合わせ
 - KUDUの「Connctathon」／「Vendor Group」
「List of participating systems sorted out per integration profiles」
- コネクタソンのネットワークや参加システムの情報」
 - KUDUの「Configuration」／「Network」

2005年度版でログインすれば自社の情報を参照できる。

今回初参加者も次のダミーを用いてログイン可能

Login: 「test6」 Password:「test6test6」 ・ Login: 「test7」 Password:「test7test7」